

一般質問発言通告書

議席番号 9 番

氏名 大谷 学

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 温泉の振興について

(1) 入湯税の減少の分析について

- ① 「統計はまだ」によると平成27年度に18,922,800円あった入湯税は年々減少し、令和7年度には3,385,000円で約6分の1まで落ち込んでいる。割合では市税全体の0.25%から0.03%である。この変化の現状についてどのように分析しているか認識を伺う。
- ② 目的税である入湯税は、具体的にどのような温泉振興に活用してきたのかを伺う。

(2) 「美又温泉うるる」の入浴料金について

- ① 料金設定はどのような考えによるのか伺う。

(3) 温泉法改正に伴う対応について

平成19年に衛生上の観点や温泉利用者の温泉への信頼の確保の観点から温泉利用事業者に対して温泉成分の10年ごとの定期的な分析と、その結果に基づく掲示内容の更新が義務付けられ平成21年末が対応期限であったが、対応できている施設はほとんどない。

- ① この現状についての認識を伺う。
- ② 温泉分析の経費を補助し、法律を遵守させる必要があると思うが、認識を伺う。
- ③ 浜田市全体で掲示方法をわかりやすく統一する必要があると思うが、認識を伺う。

2. 道の駅 ゆうひパーク浜田について

(1) 6月定例会議後の対応の状況について

- ① 進展した項目、進展していない項目は何か、現状を伺う。

(2) 道の駅としての情報発信機能の強化について

- ① 観光地等への誘客や誘導に向けての関係者間における役割分担などの準備状況について現状を伺う。

(3) 利用者増への工夫について

- ① 益田市の持石海岸にあるレストランは、1人当たり3000円以上の食事を予約したグループには、タクシーを用いて約7km離れた益田駅近くまで無料で送るというサービスを行っている。ゆうひパーク浜田においてもこのような利用者増への工夫と挑戦を今後提案すべきと思うが、その認識を伺う。

3. 建替え予定の浜田郷土資料館について

(1) 世界こども美術館に増設する案について

- ① メリットとデメリットをどのように認識しているか伺う。
- ② 収蔵庫の面積は何㎡で、既存の施設の何倍の規模の予定か、その計画を伺う。
- ③ 企画展示室を設けない理由は何か伺う。

(2) 隣接する海のみえる文化公園の活用状況について

- ① 令和7年度の公園の活用・使用状況を伺う。
- ② 園内にある野外劇場の整備費を伺う。
- ③ 野外劇場を使用したイベント回数及び動員人数を伺う。

(3) 隣接する海のみえる文化公園を増設・建替え候補地とする提案について

劇場におけるステージとそのバックヤードの適切な広さは、ステージの広さに対して1倍から1.5倍程度とされ、歴史文化財展示施設においても、展示部分の面積に対する収蔵庫部分の広さは、同面積からその1.5倍程度とされるのが一般的である。さらに収蔵庫は調湿調温ができる空調設備のある部屋と、それ以外の部屋にレベルごとに分ける必要もある。しかも、展示室と収蔵庫と資料調査室などは仕事上同じフロアにあるべきだが、こども美術館増設案では、展示室は増設した建物の1階で、収蔵庫は美術館の主に3階に計画され、同じフロアになっておらず、学芸員が資料調査をする研究室もない。企画展示室がないということは、学芸員が調査研究した事項を発表する場がないことになり、学芸員の研究意欲の低下や他の重用される博物館等への転職に繋がりがかねない。小中学生に対してレクチャーする講義室もないなど、資料館としての形を成していない案である。機能を重視し必要な収蔵庫等の部屋を確保するためには、一定の面積を確保する必要がある。こども美術館に隣接する海のみえる文化公園を候補地とすることは、その意味において最適と考える。

- ① 新たな土地取得はなく土地の有効活用度が増す。収蔵庫などの保存や研究の機能が確保できる。美術館に隣接するので一体的運営ができる。高台なので大麻山・港・浜田城や日本遺産の外ノ浦など歴史的景観を一望して実感できる。県立大学生との連携がしやすいなど、利点が大きいため候補地として研究してみてはどうか、市の見解を伺う。